

(様式1)

令和5年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 025	提案機関名 JA全農神奈川県本部
要望問題名 畜産農家の自家堆肥の商品化	
要望問題の内容 【 背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等） 】 新型コロナウイルス感染拡大以降、ウクライナショックも相まって、生産資材価格高騰が農家経営に大きな影響を及ぼしている。肥料原料価格高騰の長期化が見通せないなか、耕畜一体となったコスト低減対策が求められている。特に、「みどりの食料システム戦略」など政府の指針に則った環境配慮対応として、堆肥の活用が有効であるとされながら、畜産農家の自家堆肥活用が十分にできていないことが課題となっている。 については、畜産農家より集めた牛・豚・鶏の堆肥をブレンドし、土壌改良および肥料効果の両方を持ち合わせる堆肥の開発に向けた試験や研究をお願いしたい。	
解決希望年限	<input type="checkbox"/> ①1年以内 <input type="checkbox"/> ②2～3年以内 <input type="checkbox"/> ③4～5年以内 <input type="checkbox"/> ④5～10年以内
対応を希望する研究機関名	<input type="checkbox"/> ①農業技術センター <input type="checkbox"/> ②畜産技術センター <input type="checkbox"/> ③水産技術センター <input type="checkbox"/> ④自然環境保全センター
備考	

回答機関名	農業技術センター	担当部所	生産環境部
対応区分	<input type="checkbox"/> ①実施 <input type="checkbox"/> ②実施中 <input type="checkbox"/> ③継続検討 <input type="checkbox"/> ④実施済 <input type="checkbox"/> ⑤調査指導対応 <input type="checkbox"/> ⑥現地対応 <input checked="" type="checkbox"/> ⑦実施不可		
試験研究課題名	(①、②、④の場合)		
対応の内容等	複数堆肥をブレンドした堆肥の開発は、当所の所管外となるため実施不可とします。		
解決予定年限	<input type="checkbox"/> ①1年以内 <input type="checkbox"/> ②2～3年以内 <input type="checkbox"/> ③4～5年以内 <input type="checkbox"/> ④5～10年以内		
備考			